

救援対策本部(仮)ニュース

全国労働組合総連合（全労連）

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階

TEL03-5842-5639 FAX03-5842-5620

Email:soumu@zenroren.gr.jp

2024年1月7日

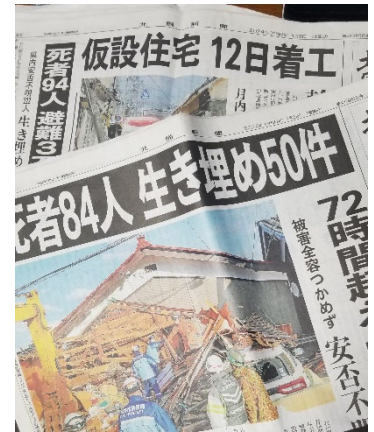
NO. 1

石川県労連が「対策本部」を設置

石川県労連は1月5日、「令和6年能登半島地震」発生を受けて急遽、第4回幹事会を開催し、組合員の被災状況を報告、共有しました。同時に被災地の復旧・復興と被災者支援にむけて「対策本部」を発足させました。会議では冒頭、地震でなくなった建交労組員に対し、全員で黙とうをおこないました。その後長曾事務局長より、石川県労連として桶間議長を本部長、長曾事務局長を事務局長とする「震災対策本部」の設置を提案し、確認しました。対策本部として



は当面、①組合員の被災状況の情報収集、②被災組合員への支援、③カンパを含む全国支援、をよびかけていくこととしました。また救援物資やボランティアについても引き続き検討していくこととしました。なお会議には全労連から渡辺事務局次長が



参加し、全労連として物心両面の支援をおこなっていくことを表明しました。なお今後、早急に石川災対連（6団体で2007年6月に発足）を再開し、災対連を軸にした被災者支援を進めていくこととしています。

1月6日 被災地・七尾市へ一全世帯が断水状態



幹事会翌日の6日、県労連長曾事務局長と全労連渡辺事務局次長は被災地の現状を把握するため、被災地・七尾市に向かいました。奥能登への道路は寸断されており、渋滞が予想されましたが、スムーズに七尾市内に。



七尾港周辺では岸壁傍の側溝が隆起し、道路が一部陥没した状態となっています。七尾市は32カ所で2,637人が避難所での生活を余儀なくされています。そして何よりも7日現在も全世帯が断水状態で救援物資に頼る状態で、市内のラーメン店など飲食店は休業、コンビニでもコーヒー販売を中止しています。また最大の被害を受けた一本杉通りでは、地元でも有名な和ろうそく店の店舗も

倒壊、休業状態となっています。

七尾市を後にして、志賀町経由で金沢へ帰ってきましたが、震災の影響で道路のセンターラインに亀裂があちらこちらで見られました。

